

パブリックコメントの結果について

募集期間：平成27年 5月26日～平成27年 6月 9日

応募件数：5件

| 番号 | 応募方法 | 募集要件               | 意見等  | 回 答  |
|----|------|--------------------|--|--|
| 1  | Eメール | 市内に住<br>所を有す<br>る人 | <p>私は中央弘前駅の整備に反対します。</p> <p>これからの少子化時代、沿線の学校の生徒・学生数が激減し、大鰐線の経営は困難が予想されます。大鰐線はJR弘前駅に接続していないために広域交通ネットワークとの連携が難しく発展性がありません。大鰐線に公金を投入するのならば弘前駅-小栗山駅間を県道127号線を通るライトレールに改造すべきですがこれは非現実的なのは明らかです。</p> <p>これ以上大鰐線の維持に固執することは弘南線の存続にも影響を及ぼしかねません。ここは廃止を受け入れて並行する弘南バス小栗山線の活性化や、弘南線・JR奥羽線・JR五能線による弘前駅を中心とした「十字のネットワーク」の充実を図るべきではないでしょうか。</p> | <p>本計画（案）では、中央弘前駅前広場の整備によりバスの乗入れを可能とし、中央弘前駅と弘前駅を結ぶバス路線の構築を図ることとしております。これにより、弘南鉄道大鰐線とJR奥羽本線及び弘南鉄道弘南線との円滑な乗換えが実現し、広域交通ネットワークとの連携が図られるものと考えております。</p> <p>弘南鉄道大鰐線は、年々利用者が減少しているものの、平成26年度実績では、年間延べ約47万9千人の方々に利用されていることから、市では地域の重要な交通幹線であると捉え、存続していかなければならないと考えております。今年度以降実施する大鰐線に関する様々な利用促進策及びモビリティ・マネジメント（市民の自発的な行動の変化を導く一連の交通施策）などの取り組</p> |

|   |             |            |  |   |
|---|-------------|------------|--|---|
|   |             |            |  | <p>みを弘南鉄道とともに着実に実行し、市民も巻き込んで大鰐線を盛り上げていき、あわせて中央弘前駅前広場周辺の利活用を図ることで、大鰐線の利用促進や中心市街地活性化につながるものと考えております。</p> <p>このように市といたしましては、弘南鉄道大鰐線の存続に向け、引き続き積極的に取り組んでまいりますことをご理解くださるようお願いいたします。また、あわせて弘南バスやJRともより一層連携し、公共交通ネットワークの充実に向け取り組んでまいります。</p> |
| 2 | アイディアポストへ投函 | 市内に住所を有する人 | <p>P 1 2<br/>         歩行者/自転車区分⇒駅前・土手町・一番町や本計画も図柄・看板文字により明確に「自転車専用」「歩行者専用」「自転車並進不可」とするべき。<br/>         歩行者にとり自転車は危険。</p> | <p>本計画（案）では、歩行者の安全性確保のため自転車歩行者道において舗装の色分けや路面標示等により通行位置を明示することとしております。また、自転車利用環境研究事業において市内の自転車走行空間及び駐輪環境等の整備について検討してまいりますので、こちらの結果も踏まえながら、関係機関と協議してまいります。</p>  |

|  |  |  |   |  |
|--|--|--|---|--|
|  |  |  | <p>P 2 2</p> <p>バス・タクシー・一般車⇒バス停はともかく、タクシー・一般車は「送迎用一時停車のみ」と図柄・看板文字に明確に表示すべき。客待ちタクシー・無断駐停車の一般車による大混雑が予想されます。イトーヨー弘前（弘前駅前通）や弘前駅前において、客待ちタクシー・無断駐停車の一般車整備の為に警備配置みたいに配置する必要あるかも。</p> <hr/> <p>「歩行者/自転車区分」「バス・タクシー・一般車・駐輪」に警備・警察配置する。中央交番を参画センター隣から移転しては？</p> | <p>本計画（案）で示しているタクシー乗車場・降車場、障がい者用乗降場、一般車乗降場については案内板を設置します。障がい者用乗降場、一般車乗降場については送迎用の一時停車のみを想定し、タクシーについては乗車場、タクシープールにおいて駐車を可能にします。警備配置につきましては、一般車、タクシーともに限られたスペースであり、ロータリーの車道については交通規制をかける予定であるため、現時点では必要ないと考えておりますが、無断駐車等の対策については、今後関係機関と協議してまいります。</p> <hr/> <p>交番・駐在所の配置数や配置箇所は、警察において地域の人口、世帯数、面積、行政区画及び事件・事故の発注状況等の治安情勢を勘案して決定し、適正な配置を行っているもので、情勢の変化に応じて見直しされる可能性があります。</p> |
|--|--|--|---|--|

|   |      |   |   |  |
|---|------|---|---|--|
| 3 | ファクス | 市内に住<br>所を有す<br>る人、納<br>税義務が<br>ある人、<br>または寄<br>付を行う<br>人 | <p>P 2<br/>上位・関連計画に載ってはいませんが「弘前市地域公共交通会議」「弘南鉄道大鰐線存続戦略協議会」との一体的な運用を図るよう願います。</p>   | <p>本計画（案）を作成するにあたり、「弘前市地域公共交通会議」及び「弘南鉄道大鰐線存続戦略協議会」の事務局と協議してまいりましたが、今後も引き続き連携してまいります。</p>   |
|   |      |   | <p>P 8<br/>整備方針 2：交流拠点にルネスアベニューが当然入っていますが 5 ページの中央弘前駅周辺図を見ると建物の 30%ほど道路 3・4・6 号線にとられます。個性的でファンも多いこの商業施設の規模縮小にならないことを祈ります。（民間施設ではあるが。）</p>                               | <p>ルネスアベニューは、ご承知のとおり都市計画道路 3・4・6 号山道町樋の口町線の計画区域に入っておりますので、区域内の建物を除却していただき道路の整備を行います。土手町と中央弘前駅周辺をつなぐ特徴的な地域資源であることから、連携しながら検討してまいりたいと考えております。</p>                                  |
|   |      |   | <p>P 27<br/>大鰐線と路線バス（新設）乗り換えを可能にすべく駅舎をセットバックし駅前広場を整備するのがこの基本構想の最大眼目でしょうから反対はしませんが、それより土手町の一方通行を解除し「土手町循環バス」や路線バスの双方向運行を図ることがまちに出かけたくなるインセンティブ効果をもたらすと思います。沿道の商店が荷捌き</p> | <p>駅前広場には「土手町循環バス」や弘前駅行などのバスの乗入れを検討しております。中心市街地の回遊性の向上や弘前駅への連絡を図ることで、郊外や周辺の市町村間との移動環境の向上が図かれると期待しておりますので、土手町の一方向通行の解除につきましては現在予定してございません。今後、地元からの要望等がございましたら、関係機関と協議してまいります。</p> |

|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|
|  |  |  | <p>問題などで反対するでしょうがこの件を克服して賑わいのある商店街を保っている事例もあります。</p>   |  |
|  |  |  | <p>P 2 8<br/>大鰐線の利用促進について相変わらずイベントでの乗降客増を図ろうとしているようですが、全否定はしないけど恒常的に増える方策を考えるべきと思います。運賃が安く、運行頻度数を多くすることです。事業会社だけでは限界があります。弘前市を中心とした自治体と国、事業会社、住民を巻き込んだ社会実験を実施すべきと考えます。(八戸市が市交通部と南部バスとで2年間社会実験しほぼその通りにいまは本格運行している) 八戸市はバス部門、こちらは電車部門。</p> | <p>弘南鉄道大鰐線につきましては、今年度以降、バスと鉄道の相互利用による運賃の乗り継ぎ割引や中央弘前駅、千年駅へのアクセス向上を図るシャトルバスの運行等様々な利用促進策及びモビリティ・マネジメント(市民の自発的な行動の変化を導く一連の交通施策)などの取り組みを国の支援を受けて弘南鉄道や住民等とともに実施してまいります。まずは沿線の住民や沿線に向かう住民の利用促進を第一と考えて取り組んでまいります。その他、中央弘前駅前広場周辺の利活用を図り、イベントを開催することで、大鰐線の利用促進につながるものと考えております。</p> |
|  |  |  | <p>P 1 7<br/>吉野町緑地は単なるイベント広場とするだけでなく観光の一拠点さらに憩いの場とするので十分な植栽を施してください。運動公園の</p>  | <p>吉野町緑地につきましては、周辺の整備と連携をとりながら、憩いの場にふさわしいように植栽についても検討してまいります。運動公園からの移植につきましては、時期やそれぞれの整備計画</p>   |

|   |      |  |  |   |
|---|------|--|--|---|
|   |      |  | <p>「はるか夢球場」の再整備でかなりの樹木の伐採が予想されますが（確認とれていません）こちらの緑地に移植し有効活用を図ってください。</p> <p>-----</p> <p>基本構想が公表されましたので早い時期に公聴会ないしはシンポジウムの開催を期待いたします。</p> | <p>もごさいますので、ご意見として承り検討させていただきます。</p> <p>-----</p> <p>本計画（案）につきましては、このパブリックコメントにおいてご意見を募集させていただきましたので、公聴会の予定はありません。今後、再度内容を精査し、策定した際には市HP等で公表しますのでご理解くださるようお願いいたします。</p> |
| 4 | Eメール | 市内に住所を有する人、市内に勤務する人、納税義務がある人、または寄付を行う人 | <p>計画自体は、魅力的であり、素晴らしいと思う。</p> <p>弘南鉄道の弘前大鰐線は、先日も、存続について、運営会社から否定的な提案があり、永続性について疑問が残る。</p>  | <p>弘南鉄道大鰐線につきましては、弘南鉄道も存続の意向を示しており、今年度以降、様々な利用促進策やモビリティ・マネジメントなどの取り組みを行政・事業者・住民が連携して実施してまいります。また、弘南鉄道大鰐線は今後市内全体の公共交通ネットワークを見直す中で、公共交通の中心となる重要な路線ととらえております。</p>          |

|  |  |  |   |  |
|--|--|--|---|--|
|  |  |  | <p>道路計画の上位に位置すると記載されているが、一般市民でこれを知っているかどうか疑問を感じる。</p>                     | <p>都市計画道路3・4・6号山道町樋の口町線整備については弘前市経営計画をはじめとした上位計画に記載され、これらの計画は公表されております。また、都市計画道路の計画については市HPで公表しており、さらに今回の整備区間に関しては事業認可を受け、都市計画事業の図書の写しを縦覧に供する旨を公告しておりますが、さらなる周知については今後の課題とさせていただきます、検討してまいります。</p> |
|  |  |  | <p>道路の改良は判るが、図解が一般市民にとって判り難い。3Dモデルや、予想図を添付して、イメージを受け止め易いカタチにならないか？</p>    | <p>市民にとってわかりやすいイメージパースにつきましては、今後作成した際に公表させていただきます。</p>   |
|  |  |  | <p>駅前広場にタクシーなどの駐車スペースはあるが、一般車両のスペースが無い。近隣の駐車所との連携を図り、気軽に駐車できる様にして欲しい。</p> | <p>駅前広場内には送迎用の一時停車を想定した乗降場を設置することとしており、駐車場についてはご意見のとおり近隣の駐車場を利用させていただくよう連携し、周知を図ります。</p>   |

|   |      |            |  |  |
|---|------|------------|--|--|
|   |      |            | <p>駅前スペースを刷新する際には、地域の安全の観点から、是非、交番の設置を望む。</p> <p>-----</p> <p>土手町が対面通行化されるように感じたが、現在の一方通行では、道路幅の不足を感じないが、対面では、道路幅が不足するのではないか？桜祭り最盛期の渋滞を考えると、道路幅の減少は、更に渋滞の悪化を招くのではないか？</p> <p>-----</p> <p>最後に、市長は、色々な施設の充実を行っているが、八方美人の進め方はやめて重点施策を決めて欲しい。</p> | <p>交番・駐在所の配置数や配置箇所は、警察において地域の人口、世帯数、面積、行政区画及び事件・事故の発注状況等の治安情勢を勘案して決定し、適正な配置を行っているもので、情勢の変化に応じて見直しされる可能性があります。</p> <p>-----</p> <p>今回の道路整備区間に関しては一方通行の解除を予定しておりますが、周辺道路の規制については今後検討していく段階であり、土手町の対面通行化に関しては現在予定してございません。</p> <p>-----</p> <p>当市では、弘前市経営計画において20年後の弘前市の姿を見定め、目標とする将来都市像の実現に向けて重点プロジェクトを含む4つの戦略により、効率的・効果的な地域経営を推進しておりますので、ご理解くださるようお願いいたします。</p> |
| 5 | Eメール | 市内に住所を有する人 | <p>1. 目的と背景 の「目的」について</p> <p>駅舎を移動、交通網の整備をするなど、ハード面は大胆かつ画期的な計画である。「歩いて出かけたくなる賑わいのあるまち」の基本構想には、</p>   | <p>本計画(案)は、観光客はもちろん訪れるすべての人が回遊し楽しめる空間をめざし、計画しています。この計画をもとに整備に向けた設計を進め、「歩いて出かけたくなる賑わいのあるまち」</p>   |



|  |  |  |   |   |
|--|--|--|---|---|
|  |  |  | <p>観光は欠かせない構想であるが、多世代が利用できるまちにすることを忘れずに計画をたてていただきたい。</p>  | <p>の実現を目指してまいります。</p>   |
|  |  |  | <p>5. 整備計画 の 5. 2. の導入機能 (2)<br/>防災機能 について</p> <p>防災を念頭に防災機能を考慮したオープンスペースを企画から考慮していることは素晴らしい。それに、もし可能であるならば、「まちの保健室」的役割も兼ねるとすれば、今後、高齢者社会にも適応可能であるし、子育て世代や若者のころのよりどころにも成りうる。</p> | <p>今後の人口減少や高齢社会を見据えたまちづくりを考える際には、大事な視点であると思いますので、ご意見として承り、参考とさせていただきます。</p>                 |
|  |  |  | <p>5. 整備計画 の 5. 2. の導入機能 (4)<br/>文化・交流機能 について</p> <p>駅前広場、吉野町緑地、赤煉瓦倉庫の一体的整備と管理・運営は、多くの市内の団体やグループや個人でも関心のある方々で構成していただきたい。数多くのアイデアや連携ができ、より多くの演出が可能になるから。</p>                     | <p>一体的な整備と管理・運営につきましては、今年度実施する吉野町文化交流拠点整備に係る事業化支援アドバイザー業務等において検討してまいりますので、参考とさせていただきます。</p> |

|  |  |  |   |
|--|--|--|---|
|  |  | <p>アイデア①・・・高校生の賑わいの創出</p> <p>この駅前広場や吉野町緑地が完成すれば、一番利用するのは、市内の高校生であると推察できる。市内の中心部であるとともに、2校の私立高校の沿線であるからだ。そこで、高校生の放課後を支援し、未来のおとなへの切符を手にする「高校生」を、多世代で支援する企画をたてることとする。</p> <p>(ex. 1:選挙管理委員会・・・18歳からの選挙権にむけて ex. 2:弘前大学・・・ネット依存を考える ex. 3:金融機関・・・お金のこと ex. 4:ハローワーク&amp;市民・・・仕事の選択 ex. 5 大学生&amp;市民・・・学習支援 ex. 6:食改・・・高校生カフェ etc. )</p> <p>アイデア②・・・多世代の賑わいの創出</p> <p>市民の参加できる『博物館』のコーナーや『展示』コーナーを設ける。多くの市民が持っているものや、多世代の創作したものを展示し、多くのひとが観覧できるようにする。</p> | <p>文化・交流拠点や吉野町緑地の具体的な利用方法等については、今後検討してまいりますので、参考とさせていただきます。</p> |
|--|--|--|---|

|  |  |   |  |
|--|--|---|--|
|  |  | <p>(ex. 1:『博物館』・「さくら」と「りんご」の市民の保有する、2点に関連あるグッズの展示<br/>ex. 2:『展示』コーナー・多世代の創作したもの<br/>の展示 etc. )</p> <p>アイデア③・・・文化・交流の場の創設<br/>市民の憩いの場を創設し、いつでも、利用・参加<br/>できる場所を確保する。耐震強化を施した「赤<br/>煉瓦倉庫」を利用したい。多世代が利用できれば、<br/>観光客も呼び寄せることが可能であろう。</p> <p>(ex. 1:カフェ ex. 2:ちいさな映画館 ex. 3:ち<br/>いさな舞台 ex. 4:おもちゃライブラリー<br/>ex. 5:あらゆる有形・無形の文化の紹介&amp;アンテ<br/>ナショップ etc. )</p> |  |
|--|--|---|--|